

歴史



市制施行を記念して行われた市民総出の「5万人光のパレード」。市民憲章や羽村市の歌も制定されました。



生涯学習センター ゆとろぎ開館



大人気! はむりん



リニューアルした動物公園エントランス



キルギス共和国男子柔道ナショナルチームを羽村市でおもてなし(歓迎セレモニーでの様子)

● 世の中のうごき ●

- 平成 5年 多摩東京移管 100周年を記念して「TAMAらいふ21」イベント開催
- 平成 7年 阪神・淡路大震災
- 平成 10年 長野 1998 冬季オリンピック・パラリンピック
- 平成 14年 日韓共催でサッカーワールドカップ大会
- 平成 16年 イラクの復興支援に自衛隊派遣
- 平成 17年 愛知万博
- 平成 23年 東日本大震災
- 令和 3年 東京 2020 オリンピック・パラリンピック

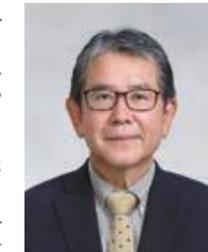
羽村市30年の主な出来事

平成 2年	5月	市名募集 (2,769通、423種類の応募)
平成 3年	11月1日	市制施行 (人口 53,381人、19,386世帯)
平成 4年	11月	水道事務所・配水塔完成
平成 5年	10月	「テレビはむら」放送開始 農産物直売所営業開始
平成 8年	4月	リサイクルセンター稼働
平成 11年	4月	福祉センター開所
平成 13年	3月	図書館新館開館 はむら花と水のまつり チューリップまつり開始
平成 14年	10月	ごみの戸別収集・一部有料化
平成 15年	8月	玉川上水が国の史跡に指定 玉川上水開削 350周年
平成 17年	5月	コミュニティバス「はむらん」 運行開始
平成 18年	4月	生涯学習センターゆとろぎ開館
平成 19年	11月	ペットボトル水 「水はむら」販売開始
平成 23年	2月	水道事業 50周年
	3月	東日本大震災被災地支援・被災者への義援金などの支援
平成 25年	7月	羽村市公式キャラクター「はむりん」誕生
平成 26年	10月	市の行政面積を 9.90 km ² に変更
平成 27年	12月	スマート交通システム (AZEMS プロジェクト) 運用開始
平成 29年	3月	動物公園入園者 1,000 万人突破
	12月	AZEMS (エイゼムス) プロジェクトが地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞
平成 30年	8月	動物公園開園 40 周年 (エントランス・管理事務所リニューアル)
	6月	キルギス共和国を相手国としたホストタウン登録/気象観測装置 POTEKA の導入
令和元年	10月	台風第 19 号により市内に被害
	11月	市制施行 30 周年

羽村市は、市制施行30周年を迎えます

問合せ 企画政策課 313

平成 3年 11月 1日、都内で 27 番目、全国で 661 番目の市として誕生した羽村市は、今年で市制施行 30 周年を迎えます。今日までの羽村市の歩みを振り返り、私たちの暮らす羽村市の未来について、この機会に考えてみませんか。



◆ 新たな「羽村市の未来」へ ◆

令和 3年 11月 1日、羽村市は市制施行 30 周年を迎えます。これもひとえに市民の皆様のご協力の賜物と心から感謝申し上げます。市制施行以来、市では、さまざまな分野で市民サービスの向上を図りながら、自立したくらしやすい都市として発展してまいりました。しかし、近年は市税収入の減少などにより厳しい財政状況が続いており、また、新型コロナウイルス感染症の影響により、市は現

在、これまで経験したことのない難局にあります。しかし、歴史を振り返ってみますと、さまざまな困難に見舞われながらも、従来の習わしにとらわれることなく、積極的に新しい物事へ取り組もうとする気質、いわゆる「進取の気性」に富んだ先人たちの英知と努力により活路を見出してまいりました。こうした困難な状況にある今こそ、市民の皆様、事業者の皆様と力を合わせ、オール羽村でこの難局を乗り越えていきたいと思っております。そして、羽村の未来を担う子どもたちが、わがまちに愛着や誇りを感じられるまちづくりに全力で取り組んでまいります。今後とも、新たな羽村市の未来に向け、皆様の格別のご指導とお力添えをお願いいたします。

羽村市長 橋本弘山

西多摩村から羽村町、そして羽村市に

明治 22年に羽村、五ノ神村、川崎村が合併し、現在の羽村市の前身「西多摩村」が誕生しました。明治末期から昭和初期までは、全国でも有数の養蚕業が盛んなまちでした。

昭和 31年、西多摩村は町制施行により羽村町となりました。町制施行以降、土地区画整理事業などを推進し、純農村であったまちは、職住近接の近代都市へと発展を遂げました。町制施行当時、約 1万 1000人であった人口は、市街化や都市の近代化に

より大幅に増加しました。平成に入り、人口が 5万人を超えることが見えてきたころ、町から市へ変わろうと市制施行へ向けて動き出しました。平成 2年の国勢調査で人口が 5万人以上となったことから、平成 3年 11月 1日、「羽村市」が誕生しました。